

『山東島津放射線技術教育講座（第13回）』

2013年12月13日

出張先：中国山東省済南市 山東医学高等専科学校

出張者：京都医療科学大学 医療科学部放射線技術学科 教授 齊藤睦弘

出張期間：2013/10/26～2013/11/2

山東医学高等専科学校で「放射化学」に関する講義（内容は下記の通り）を日本語で行ってきました。聴講者は100名程度で、放射線科の学生さんだけではなく、講義を進めるにあたり、内容に関する知識の有無や理解度について問いかけると、いつもはっきりと返答してくれたのが印象的でした。今回の通訳は李 萌 教授ではなく、6年間の日本留学経験をもつプロの方で、滞在期間中、中国文化について色々教えていただきました。

1日目の講義を終えた後、周 天増 校長、李 萌 教授らに歓迎会を開いていただきました。この会では、本学との定期的交流が両校にとって有益であるばかりでなく、日中友好の懸け橋としても意義深いことを認識しました。

済南市滞在の最終日、山東医学高等専科学校外国語教学部で日本語を担当されている林 静 先生に泰山を案内していただきました。

台風による日程変更の可能性や中国の大気汚染を心配しながらの出張ではありましたが、貴重な体験をする機会を与えていただきましたことに感謝いたします。

講義内容

- 1.放射能と同位体
- 2.壊変現象
- 3.天然および人工放射性核種
- 4.放射性同位体の化学
- 5.放射性核種の分離法
- 6.標識化合物の合成法
- 7.放射性同位体の化学分析への応用



写真1 講義初日の朝

(左から、李 教授、呉さん (通訳)、周 校長、齊藤、王 副学長、王 主任)



写真2 講義室にて (李 萌 教授と)



写真3 講義



写真4 泰山山頂にて